

第4回 圏域地域医療構想策定委員会

圏域	中播磨圏域
日時	平成28年2月10日(水)13時30分～15時30分
場所	姫路市医師会館 5階大ホール
司会	空地会長(姫路市医師会長)
出席者	欠席 藤本委員、山田委員 代理人が出席 山名委員、中川委員 上記以外は別紙委員名簿のとおり本人出席
議事次第内容	1(報告) これまでの議論の整理 2(報告) 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編に係る検討状況について 3(議決) 中播磨圏域の地域医療構想(素案)について
結論	<ul style="list-style-type: none"> ・中播磨圏域の地域医療構想(素案)の内容については、概ね了承された。 ・検討委員会での議論を踏まえ、事務局で素案の修正を行う。素案の修正確認は、委員長一任とする。 ・追加意見があれば、平成28年2月29日までに、事務局に提出いただく。
主な意見・質疑応答	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合新病院の整備場所は、イベントゾーンが最も有力だと聞いている。イベントゾーンに病院が移った場合、現在の製鉄記念広畑病院の後医療をどうするかも重要であり、検討していかなければならない。 ・医療・介護・福祉のネットワーク構築(ICT利用含む)が必要。また、この地域で、これら全てがわかる総合的な人材を育成・配置する(センター化構想)等に、基金を使って欲しい。 ・病病・病診連携はもっと進めていかないといけない。 ・高齢者の咀嚼問題に対応するべく、地域の歯科医と病院(急性期・慢性期)、介護施設の連携に取り組んでほしい。 ・医療従事者を確保する・育てることについても、県の予算をつけてほしい。 ・医療介護従事者になろうとする者へのモチベーションを高める機会を設けることが必要。 ・子どもや高齢に至らない障害者が地域包括ケアからもれないよう、医療・介護・福祉の視点(連携)を盛り込んでほしい。 ・多くの課題に対し、どのように優先順位をつけて解決していくのか。 ・地域包括ケアシステムに関しては、行政としては予算を組んで地域連携に関する会議を数多く実施していただきたい。多くの方に幅広く意見を聞ける場が必要である。
次回までの課題	構成員からの意見を反映させ、地域医療構想(素案)の修正作業を行う。